待ち時間の少ないクリニックを目指す
一日でも早い白内障手術を提供

ホテルのロビーをイメージした待合室。自動会計機が設置されており、クレジットカードでの支払いも可能

外来の待ち時間や手術までの待機期間を短縮

2023年5月に北栄町で開院し最新の検査機器、手術機器をそろえ、全国標準の診療を目指す。駐車場も30台分と十分なスペースを確保。清水院長は「クリニックで患者様が一番不満に思うのは待ち時間が長いことです。そのため少しでも在院時間を短くすることを目標としています」と話す。外来検査では、通常瞳孔を広げてから目の写真を撮ることが多いが、瞳孔を広げなくても撮影できるカメラを用いて診療の時間を短縮。さらにWeb予約システムや自動会計機を用いてスムーズな受付や会計を可能としている。

白内障は一日でも早い手術ができることを目標としている。現在の白内障手術は高性能な手術機器を用意しているため侵襲が少なく短時間で済む。1日で多数の手術を行うことができ、何ヵ月も待機することがないよう心掛けている。

最新の治療を提供

白内障・緑内障・涙目の3つの治療に力を入れており、それぞれに最新の治療を導入している。白内障は市内で唯一の「多焦点眼内レンズ」を用いた手術を行っており、メガネをかける煩わしさを解消する治療が可能だ。

緑内障治療は低侵襲の治療を行っている。1つはSLT(レーザー治療)で治療時間は5~10分ほどで終了する安全な治療。白内障手術と同時に行うことのできるiStent挿入術も行っている。涙目の治療は、道内でも少ない涙道内視鏡を用いており、より正確な診断、治療を可能としている。最近では一般的となっている光干渉断層血管撮影(OCTA)はもちろん、ドライアイや結膜炎などの一般的な眼科診療も行っている。

無散瞳で広範囲の網膜を撮影できる最新のカメラ

安心した雰囲気で最新機器を揃えた手術室

院長 清水　恒輔

札幌市出身。2007年旭川医科大学卒業後、同大病院眼科勤務を経て名寄市立総合病院、釧路ろうさい病院、王子総合病院などの眼科専門医として勤務。2019年からは医療法人社団済安堂札幌・井上眼科クリニックで院長を務めた。2023年5月に苫小牧しみず眼科を開院。日本眼科学会専門医、身体障害者福祉法指定医、視覚障害者用補装具適合判定医師。日本眼科学会、日本涙道・涙液学会、日本網膜硝子体学会所属。

苫小牧しみず眼科
☎(0144)84-8302
苫小牧市北栄町1丁目22番52号
←ホームページはこちらから

眼科

診療時間／
月・水・金／8:45~12:00　14:00~17:00
火・木／8:45~12:00　※午後は手術
第2・4土曜／8:45~12:00
休診日／第1・3・5土曜、第2・4土曜午後、日・祝日